明石工業高等専門学校	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	英語ＩＢ

科目基礎情報

科目番号	0009	科目区分	一般 / 必修
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	建築学科	対象学年	1
開設期	通年	週時間数	2
教科書/教材	(1) 総合英語 Evergreenおよびワーク2種類　(2) データベース 5th Edition　(3) ネクステージ		
担当教員	穐本 浩美		

到達目標

(1) 英語運用のベースとなる文法事項の理解と定着および語彙増強を目指し基礎力を図る。
(2) 英語によるコミュニケーションに必要なスキルおよび異文化に対する理解を深める。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
1)　英語運用の基礎となる知識や技能を習得し、実際の場面での英語の使用に役立てることができる。	英語運用の基礎となる知識や技能を習得し、実際の場面での英語の使用に役立てることが応用してできる。	英語運用の基礎となる知識や技能を習得し、実際の場面での英語の使用に役立てることができる。	英語運用の基礎となる知識や技能を習得し、実際の場面での英語の使用に役立てることができない。
2) 相手と英語でコミュニケーションを図ろうとする態度や誰とでも協力して活動ができる姿勢を身に付け、実際の場面での英語の使用に役立てることができる。	･相手と英語でコミュニケーションを図ろうとする態度や、誰とでも協力して活動ができる姿勢を身に付け、実際の場面での英語の使用に役立てることが応用してできる。	･相手と英語でコミュニケーションを図ろうとする態度や誰とでも協力して活動ができる姿勢を身に付け、実際の場面での英語の使用に役立てることができる。	･相手と英語でコミュニケーションを図ろうとする態度や、誰とでも協力して活動ができる姿勢を身に付け、実際の場面での英語の使用に役立てることができない。
3) 日常生活や自分の身近なことについて、ある程度の的確さ、流暢さ、即応性をもって内容を聴解、読解、伝達できる。	･日常生活や自分の身近なことについて、的確さ、流暢さ、即応性をもって内容を聴解、読解、伝達できる。	･日常生活や自分の身近なことについて、ある程度の的確さ、流暢さ、即応性をもって内容を聴解、読解、伝達できる。	･日常生活や自分の身近なことについて、ある程度の的確さ、流暢さ、即応性をもって内容を聴解、読解、伝達できない。

学科の到達目標項目との関係

学習・教育到達度目標 (B) 学習・教育到達度目標 (E)

教育方法等

概要	文法書およびワークを用いた文法事項の理解と定着、毎週の小テスト（クイズ）を通した語彙増強、補完教材を使用し異文化の理解を深める。
授業の進め方・方法	文法書およびワークの予習と復習、単語集からの小テストを実施する。
注意点	遅刻は授業開始後10分まで。10分を超えた場合は特別な事情を除き欠席扱い。授業中の居眠り、他の教科の勉強、漫画や雑誌を読むこと、忘れ物、予習の不備、携帯電話の使用なども欠席扱いとなる。 合格の対象としない欠席条件(割合)　1/4以上の欠課

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	TOEIC Bridge 試験受験	外部試験で現状の英語力を認識する。
		2週	授業概要説明	授業進行や課題などについて理解し年間を通して実行できる。
		3週	クイズ１　　Lesson 1 & 2	文法事項の理解と定着に加え、実際のコミュニケーションで使える英語力を目指す。
		4週	クイズ２　　Lesson 3 & 4	文法事項の理解と定着に加え、実際のコミュニケーションで使える英語力を目指す。
		5週	クイズ３　　Lesson 5 & 6	文法事項の理解と定着に加え、実際のコミュニケーションで使える英語力を目指す。
		6週	クイズ４　　Lesson 7 & 8	文法事項の理解と定着に加え、実際のコミュニケーションで使える英語力を目指す。
		7週	クイズ５　　ワークチェック、振り返り	中間テストに向けての振り返りと質疑応答を通し理解度の定着を目指す。
		8週	中間テスト実施	これまでの授業の理解度を測る。
	2ndQ	9週	中間テスト返却と解説	今後に向けての課題発見と対策を検討する。
		10週	クイズ６　　Lesson 9 & 10	文法事項の理解と定着に加え、実際のコミュニケーションで使える英語力を目指す。
		11週	クイズ７　　Plus 助動詞 & Lesson 11	文法事項の理解と定着に加え、実際のコミュニケーションで使える英語力を目指す。
		12週	クイズ８　　英語圏文化演習	英語圏文化に関する映像や資料を利用し、異文化に対する理解を深める。
		13週	クイズ９　　Lesson 12 & 13	文法事項の理解と定着に加え、実際のコミュニケーションで使える英語力を目指す。
		14週	クイズ１０　Lesson 14 & 15	文法事項の理解と定着に加え、実際のコミュニケーションで使える英語力を目指す。
		15週	ワークチェック、振り返り	期末テストに向けての振り返りと質疑応答を通し理解度の定着を目指す。
		16週	期末試験	これまでの授業の理解度を測る。
後期	3rdQ	1週	後期授業概要説明、英語圏文化演習	英語圏文化に関する映像や資料を利用し、異文化に対する理解を深める。
		2週	クイズ11　Lesson 16 & 17	文法事項の理解と定着に加え、実際のコミュニケーションで使える英語力を目指す。
		3週	クイズ12　　Lesson 18 & 19	文法事項の理解と定着に加え、実際のコミュニケーションで使える英語力を目指す。

		4週	クイズ13　英語圏文化演習	英語圏文化に関する映像や資料を利用し、異文化に対する理解を深める。
		5週	クイズ14　Plus 分詞 & Lesson 20	文法事項の理解と定着に加え、実際のコミュニケーションで使える英語力を目指す。
		6週	クイズ15　Lesson 21 & 22	文法事項の理解と定着に加え、実際のコミュニケーションで使える英語力を目指す。
		7週	ワークチェック、振り返り	中間テストに向けての振り返りと質疑応答を通し理解度の定着を目指す。
		8週	中間テスト実施	これまでの授業の理解度を測る。
	4thQ	9週	中間テスト返却と解説	今後に向けての課題発見と対策を検討する。
		10週	クイズ16　英語圏文化演習	英語圏文化に関する映像や資料を利用し、異文化に対する理解を深める。
		11週	クイズ17　Lesson 23 & 24	文法事項の理解と定着に加え、実際のコミュニケーションで使える英語力を目指す。
		12週	クイズ18　Lesson 25 & 26	文法事項の理解と定着に加え、実際のコミュニケーションで使える英語力を目指す。
		13週	クイズ19　Lesson 27 & 28	文法事項の理解と定着に加え、実際のコミュニケーションで使える英語力を目指す。
		14週	クイズ20　Lesson 29 & 30	文法事項の理解と定着に加え、実際のコミュニケーションで使える英語力を目指す。
		15週	ワークチェック、振り返り	期末テストに向けての振り返りと質疑応答を通し理解度の定着を目指す。
		16週	期末試験	これまでの授業の理解度を測る。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	2	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	2	

				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	2	
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	2	
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディーランゲージなど)。	3	
				他者の意見を聞き合意形成することができる。	2	
				合意形成のために会話を成立させることができる。	2	
				グループワーク、ワークショップ等の特定の合意形成の方法を実践できる。	2	
				課題の解決は直感や常識にとらわれず、論理的な手順で考えなければならないことを知っている。	3	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	小テスト	合計
総合評価割合	50	0	0	0	0	50	100
基礎的能力	50	0	0	0	0	50	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0